

『投手用9分割スコアブック—9SCOPE PITCHING SCOREBOOK』の書き方

はじめに

『投手用9分割スコアブック』には、書き方のルールがあるわけではありません。記録者やチーム関係者がわかりやすいように工夫して記入するのが最適です。

ただ、スコアブックを初めて書く人のため、以下に一般的な記入例をご紹介します。ご参考にしてください。

■ 試合に関する基本情報

本スコアブックの最上部には、試合の年月日や場所、大会名、天候、得点経過などを記入する欄があります。試合前に記入できる部分に関しては、早め書いておきましょう。

■ 相手チームのメンバー

本スコアブックの最左部に1～9までの数字が印刷されています。その数字は相手チームの打順を表しています。

また、そのすぐ右の欄には、打順に対応する相手チームの選手名や守備位置番号（次項参照）を書きます。代打などで選手交代がなされた場合は、2行目・3行目に新しい選手名を書きます。

空いたスペースは自由にご活用ください。

※本スコアブックは投手用に開発されたものですので、自チームの打撃結果を記入する欄はありません。

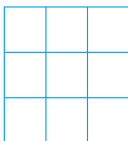
■ 守備位置番号（ポジションナンバー）

守備位置番号とは守備位置（ポジション）を数字で表したものです。スコアブックを書く際の基本事項で、「どのポジションの選手か」「どこに打球が飛んだか」「どこに送球したか」などを、この守備位置番号で表します。

守備位置番号

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 投手/ピッチャー |
| 2 | 捕手/キャッチャー |
| 3 | 一塁手/ファースト |
| 4 | 二塁手/セカンド |
| 5 | 三塁手/サード |
| 6 | 遊撃手/ショート |
| 7 | 左翼手/レフト |
| 8 | 中堅手/センター |
| 9 | 右翼手/ライト |

■ 9分割スコープ



ストライクゾーンを9つに分割し、自チームの投手が「どこにどのようなボールを投げたか」について、経過を記録する欄です。

9分割スコープは投手からの目線で見ますので、「スコープの左側」が右打者の外角（アウトコース）または左打者の内角（インコース）、「スコープの右側」が右打者の内角（インコース）または左打者の外角（アウトコース）となります。

また、ストライクから外れたボールは、9分割スコープの枠外に書きます。

■ 球種

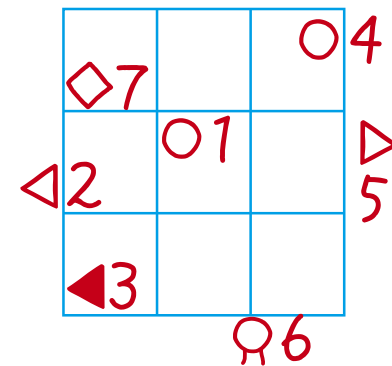
9分割スコープを使って球種や投球順などを記入すれば、配球を分析・研究する際に役立ちます。

球種の記号は特に決まっているわけではありませんので、自チームで統一した記号を決めましょう。たとえば、右のような記号が考えられます。

球種記号の例

- | | |
|---|---------|
| ○ | ストレート |
| ◁ | カーブ |
| ◄ | スライダー |
| ◇ | カットボール |
| ▷ | シュート |
| ○ | フォーク |
| □ | シンカー |
| ◎ | チェンジアップ |

● 自チームの球種記号



■ 投球順、空振り・見逃し等の区別

投球順は、球種記号の中や近くに記入します。

空振り・見逃し・ファールの区別は、独自の記号ルールを作ってもいいですし、色分けしてもわかりやすいでしょう。

■ 投球カウント

F 4
B 2 5 6 ○ S 1 ③ ⑦

投球カウントの経過を記録します。Bはボール、Sはストライク、Fはファールを意味します。

B・S・Fの右には、単なる○ではなく、1、2、3…という具合に投球順の数字を記入すると、よりわかりやすくなります。また、フィールドに打たれた最終球もBかSの欄に記載すれば、投球数を数えやすくなります。

上記例では、ファールと最終球を丸付き数字で表しています。